令和〇年〇月〇日

農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する活動計画書 (多面的機能支払に係る活動計画書、中山間地域等直接支払に係る集落協定、 環境保全型農業直接支払に係る営農活動計画書)

(ふりがな)	(しがまるごとほぜんたい)
組織名	滋賀まるごと保全隊
'	
(ふりがな)	(ためん たろう)
代表者氏名	多面 太郎
(ふりがな)	(まるけんさんかくしまるちょう)
所在地	△△市・郡○町○-○-○

I. 地区の概要(共通)

<活動の計画>

${\rm I\hspace{1em}I}$.	1号事業(多面的機能支払)	別紙1
Ⅲ.	2号事業(中山間地域等直接支払)	別紙
IV.	3号事業(環境保全型農業直接支払)	別紙
٧.	その他多面的機能の発揮の促進に資する事業に係る計画書	別紙

(注) 該当する活動にチェックし、取り組む活動の別紙のみ添付すること

<施行注意>

提出の際に()内は、多面的機能支払に係る活動計画書、中山間地域等直接支払に係る集落協定、環境保全型農業直接支払に係る営農活動計画書のうち該当する活動の計画書若しくは協定を記載すること。

I. 地区の概要

※以下、(多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払)をそれぞれ(多面支払、中山間 直払、環境直払)と一部で表示

1. 活動期間

	活動開始年度	活動終了年度	交付金の 交付年数	計画変更年度	計画変更年度
農地維持支払	令和6年度	令和10年度	5 年	○年度	○年度
資源向上支払 (共同)	令和6年度	令和10年度	5 年	○年度	○年度
資源向上支払 (長寿命化)	令和6年度	令和10年度	5 年	○年度	○年度
中山間地域等 直接支払	○年度	○年度	年	○年度	○年度
環境保全型農 業直接支払	○年度	○年度	年	○年度	○年度

2. 実施区域内の農用地、施設

協定是	農用地面積										うち遊休	年当たり
又は認面積※	定農用地 ﴿1		田	畑 草地 採草放牧地				草放牧地	計	農地面積	交付金額 上限	
	多面 支払	1	0,000a		1,000a		100a			11,100 a	10 a	5,733,000円
	中山間		а		а		а		а			
	直払	傾斜		傾斜		傾斜		傾斜		а	а	円
取組	環境											
面積	直払※2										а	円

- ※1 多面支払の認定農用地面積は、集落が管理する農用地面積を記載する。
- ※2 環境直払に取り組む場合は、IVの4の交付金額の取組面積の合計及び年当たり交付金額上限の合計を記載するものとする。

農業用施設	水路	農道	ため池			
(多面支払)	8.2 km	7.5 km	5 箇所			
うち、資源向上支払 (長寿命化)の対象施設	0.3 km	1.5 km	3 箇所			

※ 延長は、小数点以下第1位まで記入する。

3. 実施区域位置図

別添1「実施区域位置図」のとおり

4. 組織構成員一覧

別添2「構成員一覧」のとおり

※ 多面支払のみに取り組む場合は、活動組織規約の別紙「構成員一覧」に代えることができる。

5. 多面的機能支払と中山間地域等直接支払との重複面積

重複面積	
(多面支払・中山間直払)	
	а

※ 多面支払の活動計画書及び中山間直払の集落協定に位置づけられている施設等については、多面支払の 活動組織により活動を実施し、また、多面支払の交付金を充てることとする。

<施行注意>

計画書の変更の際には、容易に比較対照できるよう変更部分を二段書きとし、変更前を()書で上段に記載するものとする。

多面的機能支払に係る活動計画書(1号事業様式)

Ⅱ. 1号事業(多面的機能支払)

対象組織が広域活動組織の場合は〇

 \Rightarrow

1. 交付金額 ※複数の交付単価がある場合には、行を追加してください。

(1)農地維持支払

地目	対象農用地面積	交付単	価	年当たり交付金額
田	10,000 a	2,200	円/10a	2,200,000円
畑	1,000a	1,500	円/10a	150,000円
草地	100a	180	円/10a	1,800円
	この線より	上に行を挿ぶ	えしてく	ださい。
合計	11,100a			2,351,800円

※対象農用地面積とは、交付金の算定の対象となる農用地の面積のことです。小数点以下を切り捨て、整数で記入してください。

★活動期間中に、田から畑への地目の変更が生じた場合は下記に記入し、市町村に提出してください。農地維持支払の単価が活動終了年度まで田の単価となります。

地目を田から畑に変更する面積

а

(2) 資源向上支払(共同)

← 環境保全型は「1」、防災減災型は「2」、生態系保全型は「3」を入力して下さい

地目	対象農用地面積	交付単	価	年当たり交付金額
田	10,000a	1,300	円/10a	1,300,000円
畑	1,000a	800	円/10a	80,000円
草地	100a	120	円/10a	1,200円
	この線より	上に行を挿え	えしてく	ださい。
合計	11,100a			1,381,200円

(3) 資源向上支払(長寿命化)

地目	対象農用地面積	交付単	価	年当たり交付上限額
田	10,000a	4,400	円/10a	4,400,000円
畑	1,000a	2,000	円/10a	200,000円
草地	100a	400	円/10a	4,000円
	この線より	上に行を挿	入してく	ださい。
合計	11,100a			4,604,000円

※広域活動組織となるための規模要件を満たさない場合、かつ直営施工を実施しない場合は、単価に5/6を乗じた額を記入してください。

※広域活動組織となるための規模要件を満たさない場合は、左記合計と集落数×200万円のいずれか小さい方が上限となります。

広域活動組織となるための規模 ⇒ 要件を満たさない場合は○



集落数×200万円

2,000,000円

2. 組織の広域化・体制強化の計画 (計画がない場合、この項目への記入は不要です)

	広域活	動組織	の設立	特定非営	利活	動法人化	; E
実施予定年度	令和		年度	令和		年度	1 7

※「特定非営利活動法人」とは、営農法人とは別に多面的活動に関与する法人のことです。

With a state of the content of t	以下は	市	町村	担当者と相談の上、記入してください	١٥		•••••									•••••
地域振興立法の適用	集落数	ζ		1集落												
瀬島 沖縄 奄美群島 小笠原諸島 小笠原諸島 小笠原諸島	農業地	域数	類型	都市的地域 〇平地	農業	地域	\circ	中間	農業	地域		山間	農業	地域		
諸定棚田地域の該当状況 「他会算定の対象としている農振農用地区域外の対象農用地面積 「活動の計画 「お動の計画 「お動の計画 「お動項目 「お動項目 「お動項目 「お動項目 「お動項目 「おりでは、 「なりでは、 「なりが、 「なりでは、 「なりが、 「なりが	也域振	興	立法	の適用 特定農山村	振興	山村		過疎	į		半島	i				
大きり 100a				離島	沖縄	.		奄美	群島		小笠	原諸	島			
活動の計画	指定棚	田坦	也域	の該当状況												
活動の計画	交付金貨	算定	の対	象としている農振農用地区域外の対象農	用地面	積										
大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	農地維	持	支払	100a												
大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	······································	·····		I —				•••••								
活動項目			-		★宝	₽悔す	スト	11 - (うを罰	וגב	.7	ノだっ				
活動項目	. 1 / /:	長り	ら小田	DIAXID		こりじ タ	<i>∂</i> ,	ادر					2010			
1 点検	舌動区	分		活動項目	4月	5月	6月	7月					12月	1月	2月	3月
### 3 事務・組織運営等に関する研修、機械の安全使用に関する研修 以上受講)	 点検・		1		0											
研修 機械の安全使用に関する研修 以上受講) 農用 4 遊休農地発生防止のための保全管理 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	計画策	定	2	年度活動計画の策定	0											
機械の安全使用に関する研修 以上受講) ## 4 遊休農地発生防止のための保全管理	TT / b	_	3	事務・組織運営等に関する研修、	○年	度(及び	○年月	宴) (こ受講	基子 定	三(活	動期	間内	に各:	1 回
大	研修			機械の安全使用に関する研修	以上	受講)									
地 6 鳥獣害防護柵等の保守管理	j	農	4	遊休農地発生防止のための保全管理					0			0				
大	J	用	5	畦畔・法面・防風林の草刈り			0	0	0							
大 8 水路の泥上げ 9 水路附帯施設の保守管理 点検結果に応じて実施時期を決定 10 農道の草刈り 11 農道側溝の泥上げ 点検結果に応じて実施時期を決定 12 路面の維持 点検結果に応じて実施時期を決定 13 ため池の草刈り 14 ため池の泥上げ 点検結果に応じて実施時期を決定 15 ため池附帯施設の保守管理 点検結果に応じて実施時期を決定 15 ため池附帯施設の保守管理 点検結果に応じて実施時期を決定 16 異常気象時の対応 洪水、台風、地震等の発生後 地域資源の適切な保全管理のための推進活動 0 しは資源の適切な保全管理のための推進活動について、1)~4)を記入してください。	ţ	地	6	鳥獣害防護柵等の保守管理	点検	結果	に応	じて	実施明	寺期を	た決定	Ē				
大田 10		L	7	水路の草刈り			0	0	0							
実践 9 水路附帯施設の保守管理 点検結果に応じて実施時期を決定 10 農道の草刈り 11 農道側溝の泥上げ 11 農道側溝の泥上げ 点検結果に応じて実施時期を決定 12 路面の維持 点検結果に応じて実施時期を決定 ため地の草刈り 14 ため池の泥上げ 15 ため池附帯施設の保守管理 点検結果に応じて実施時期を決定 共通 16 異常気象時の対応 地域資源の適切な保全管理のための推進活動 洪水、台風、地震等の発生後 地域資源の適切な保全管理のための推進活動について、1) ~4)を記入してください。		_	8	水路の泥上げ	0											
活動	実	ш	9	水路附帯施設の保守管理	点検	結果	に応	じて	実施明	寺期を	·決定	Ē				
加速 11 農道側溝の泥上げ 点検結果に応じて実施時期を決定 12 路面の維持 点検結果に応じて実施時期を決定 13 ため池の草刈り 0 0 0 0 0 0 0 0 0	×	#	10	農道の草刈り					\circ			0				
12 路面の維持 点検結果に応じて実施時期を決定 13 ため池の草刈り 0 0 0 0 0 0 0 0 0	∓ ⊥ /:		11	農道側溝の泥上げ	点検	結果	に応	じて	実施明	寺期を	た決定	Ē				
が 14 ため池の泥上げ 点検結果に応じて実施時期を決定 15 ため池附帯施設の保守管理 点検結果に応じて実施時期を決定 共 16 異常気象時の対応 洪水、台風、地震等の発生後 地域資源の適切な保全管理のための推進活動 〇 地域資源の適切な保全管理のための推進活動について、1)~4)を記入してください。			12	路面の維持	点検	結果	に応	じて	実施明	寺期を	た決定	Ē				
池 15 ため池附帯施設の保守管理 点検結果に応じて実施時期を決定	7	た	13	ため池の草刈り					0			0				
15 7とめが時間を成めばい言注			14	ため池の泥上げ	点検	結果	に応	じて	実施明	寺期を	·決定	Ē				
通 10 発音 対象時の対応	Ì	池	15	ため池附帯施設の保守管理	点検	結果	に応	じてヨ	実施問	寺期を	·決定	Ē				
也域資源の適切な保全管理のための推進活動について、1)~4)を記入してください。			16	異常気象時の対応	洪水	、台	風、	地震等	等の多	発生後	复					
	也域資	源(の適	切な保全管理のための推進活動								0				
)保全管理の目標を①~⑥から選んでください。(複数選択可)	地域資	源(の適	切な保全管理のための推進活動につい	て、	1)	~4)を	記入	して	くださ	さい。				
	1)保	全	管理	の目標を①~⑥から選んでください。	(複	数選	択可)_								
①中心経営体との役割分担による保全管理 ④集落間連携や広域的活動による保全管理	(1)¢	心心	圣営体との役割分担による保全管理				④集	落間	連携	や広	域的》	舌動に	こよる	保全	管理
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□											·-·		- 10.			/n ^
③地域外の経営体との協力・役割分担による保全管理 ⑥その他	0 (2	2)集	落宫	営農組織を基礎とした地域ぐるみの保証	全管	理		⑤多	様な	地域:	資源	管埋(ひ担し	1手に	よる	保王'

2) :	<u>今後、地</u>	域で取り組んでいくべき保全管理の内	内容を	<u>(1)~</u>	<u>⑤か</u>	51 <u>I</u>	頁目以	以上選	軽んて	ごくだ	<u>:さい</u>	<u>o</u>		
0	①農地の	D利用集積に伴う管理作業				4 ;	同利	用施	設の	保全管				
	②高齢	農家の農用地に係る管理作業				⑤そ	の他							
	③不在村	対地主等の遊休農地に係る管理作業												
3)	2) で選	んだ内容に取り組むため、今後進め ⁻	ていく	活動	の方	向性:	を(1)	~(7)1	から1	項目	以上	選ん ⁻	でくだ	ごさい
	①担い€	手の人材・機材の有効活用、連携強化				⑤不	在村	地主	との	連絡	• 調整	整体制	の構	築
	②入り1	作等の近隣の担い手との協力				6集	落間	の連	携や	広域 的	的な流	5動		
0	③地域(主民、土地持ち非農家等を含めた体制	づく	り		⑦そ	の他							
	4新たれ	な保全管理の担い手の確保							•					
4)	2)で選	異んだ内容に取り組むため、毎年実践	する	舌動を	£17	~23	から	1項	ヨ以」	上選/	υでく	ださ	<i>د</i> ١.	
0	17. 入 農	り作農家や土地持ち非農家を含む 業者の検討会の開催				21.			等に			向調 香	查、均	也
		業者に対する意向調査、農業者による	現地記	調査		22.							討会の	り開催
	19 . 不	在村地主との連絡体制の整備、調整	等			23.	その	D他						
		落外の住民・組織や地域住民との意! ・ワークショップ・交流会の開催	見交											
(2)	· 資源向	上支払(共同)												
1)	施設の軸	R微な補修、農村環境保全活動	★実	施す	る月	につる	を記え	して	こくた	ごさい	۱۰			
	施設の軸 動区分	経微な補修、農村環境保全活動 					毎年	度の	実施	時期				
		活動項目					毎年	度の	実施	時期		1月	2月	3月
	動区分						毎年	度の	実施	時期		1月	2月	3月
活	動区分機能	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断	4月				毎年	度の	実施	時期		1月	2月	3月
活動	動区分 機能診	活動項目 24 農用地の機能診断	4月 〇				毎年	度の	実施	時期		1月	2月	3月
活	動区分機能診	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断	4月 〇 〇				毎年	度の	実施	時期		1月	2月	3月
活:	動区 計画策	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断 26 農道の機能診断 27 ため池の機能診断 28 年度活動計画の策定	4月 〇 〇 〇				毎年	度の	実施	時期		1月	2月	3月
施設の軽微	動区 計画策	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断 26 農道の機能診断 27 ため池の機能診断	4月 〇 〇 〇	5月	6月	7月	毎年	9月	10月	11月	12月	1月		
施設の軽	か	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断 26 農道の機能診断 27 ため池の機能診断 28 年度活動計画の策定 29 機能診断・補修技術等に関する	4月 〇 〇 〇 令和	5月	度に	7月	8月	9月	加期間	11月	12月			
施設の軽微な	動区 計画策定 研 機能診断・ 修	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断 26 農道の機能診断 27 ため池の機能診断 28 年度活動計画の策定 29 機能診断・補修技術等に関する研修	4月 〇 〇 〇 令和 機能	5月	6月 度に	7月	毎年8月	9月 (活動	10月	11月	12月			
施設の軽微な補	動 計画策定 研 実践活分 機能診断・ 修	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断 26 農道の機能診断 27 ため池の機能診断 28 年度活動計画の策定 29 機能診断・補修技術等に関する研修 30 農用地の軽微な補修等	4月 〇 〇 〇 令和 機能	5月	6月 度に 結果	7月 受講	毎年 8月 予定 ごで ごで	9月 (活動	10月	11月	12月			
施設の軽微な補修	か	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断 26 農道の機能診断 27 ため池の機能診断 28 年度活動計画の策定 29 機能診断・補修技術等に関する研修 30 農用地の軽微な補修等 31 水路の軽微な補修等	4月 〇 〇 令和 機能 機能	5月	6月 度に 結果 結果	7月 受講 に応に応い	毎年 8月 予定 ごて う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ う こ	9月 (活動) (活動) (活動) (活動) (影响) (影响) (影响)	10月 加期間 前期 有 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前	11月	12月			
施設の軽微な補修農	動 計画策定 研 実践活分 機能診断・ 修	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断 26 農道の機能診断 27 ため池の機能診断 28 年度活動計画の策定 29 機能診断・補修技術等に関する研修 30 農用地の軽微な補修等 31 水路の軽微な補修等 32 農道の軽微な補修等	4月 〇 〇 令和 機能 機能	5月	6月 度に 結果 結果	で で に に に に に に に に に に に に に に に に に に	毎年 8月 予定 ごて う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ う こ	9月 (活動) (活動) (活動) (活動) (影响) (影响) (影响)	10月 加期間 前期 有 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前	11月	12月			
施設の軽微な補修	動 計画策定 研 実践活分 機能診断・ 修	活動項目 24 農用地の機能診断 25 水路の機能診断 26 農道の機能診断 27 ため池の機能診断 28 年度活動計画の策定 29 機能診断・補修技術等に関する研修 30 農用地の軽微な補修等 31 水路の軽微な補修等 32 農道の軽微な補修等 33 ため池の軽微な補修等	4月 〇 〇 令和 機能 機能	5月	6月 度に 結果 結果	で で に に に に に に に に に に に に に に に に に に	毎年 8月 予定 ごて う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ て う こ う こ	9月 (活動) (活動) (活動) (活動) (影响) (影响) (影响)	10月 加期間 前期 有 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前	11月	12月			

37 水田貯留機能増進計画、地下水か

ん養活動計画の策定

38 資源循環計画の策定

定

全

活

動

活動区分		活動項目	毎年度の実施時期											
/Шэ	⊌J (<u>C.</u> 7)			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		39 生物の生息状況の把握(生態系 保全)					0							
農村	実	42 水質モニタリングの実施・記録 管理(水質保全)	0	0										
環境	践	46 施設等の定期的な巡回点検・清掃 (景観形成・生活環境保全)			0				0					
保全	動	101 水田からの排水(濁水)管理 (水質保全)	0	0										
活動														
		この線より上に行を挿入してください	, \ °											
	啓発・普及	51 啓発・普及活動	0											

2) 多面的機能の増進を図る活動 (任意の取組) ★実施する月に○を記入してください。

活動区分			活動項目	毎年度の実施時期										備考		
			心 到块口	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	佣与
	多面	56 開	農村環境保全活動の幅広い展	0	0											
図る活動	的機															
	能の															
	増															
	進 を															
		この	線より上に行を挿入してくださ	い。												
		60	広報活動・農的関係人口の拡大										·		0	

※増進を図る活動を実施する場合は、活動項目を選択した上で、毎年度実施するとともに、広報活動を毎年度実施してください。 ただし、農業地域類型区分の「中間農業地域」または「山間農業地域」、地域振興立法8法地域においては広報活動は必須ではありません。

TIME BIOLOGY CLOUD J CC 100										
56. 農村環境保全活動の幅広い展開 を選択した場合、以下の太枠内も記入してください。										
56.	を選択した場合に選択⇒	0	農村環境保全活動を	1テーマ追加		「高度な係	保全活動の実施」			
農村	農村環境保全活動のテーマ 生態系保全・水質保全			高度な保全活						
	↑「生態系保全・水質保全」「景観形成・生活環 境保全」、「水田貯留機能増進・地下水かん養」 「資源循環」から選択									
59.	59. 都道府県、市町村が特に認める活動 を選択した場合、具体的な活動内容を記載してください。									

(3) 資源向上支払(長寿命化)

工事1件当たり200万円以上となることが明らかな場合は、様式第1-4号「長寿命化整備計画書」を作成し、添付してください。なお、1つの活動項目を分けて実施する場合は、それぞれを1件として 考えます。 ※延べ数量の延長は小数点以下第2位まで記入してください。

	活動	内容	延べ数			年	度計	画	
施設区分	活動項目	内容	(単位はk 箇所を選		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
水路	61 水路の補修	水路〇〇-〇の老朽化部分の目 地補修	0.03	km	0	0			
水路	62 水路の更新等	水路△△-△の水路本体更新	0.24	km			0	0	0
	この線より上に行を挿	入してください。							

☆直営施工の実施方針について		全て直営施工	0	一部直営施工		直営施工は実施しない
☆上記以外に農業の多面的機能の維持・動計画書に記載してください。(別紙でく活動)	/ 0,7	-,, -, -, -,-		7 (NO) O PRO LION	, _	33,300.